

何年先にも残る  
まちの行事へ

# 最上祭り

「最上祭り」は50年も続く町の伝統的な行事。起源は最上町町制施行20周年記念事業とされています。コロナ禍以前は初日に神輿渡御、2日目に仮装行列が行われ地域コミュニティが盛んでした。

しかし現在では、コロナ禍を経て行事のあり方の見直し、人口減少、少子高齢化といった時代に合わせ、神輿渡御のみ行われています。その神輿渡御では、町内のスポーツ団体に所属する子どもたちや、その保護者、高校生ボランティアが神輿を担ぎ、向町地内を周回し商店街に活力や、集落の人たちに元気を与えています。今年は豪雨災害があった中で、開催が心配されましたが、向町地区以外の集落の参加もあり、多くの方々に支えられ2日間を終えました。今後も最上祭りは進化しながら、町の歴史のページに刻まれていきます。

